**The Japanese version of Death Literacy Index (DLI-J) in Japanese**

このアンケートは、あなたの「デス・リテラシー（Death Literacy）」を評価することを目的としています。

デス・リテラシーとは、死や終末期ケアについて総合的に理解し、対応していくための力のことです。デス・リテラシーには、実践的なスキルや知識、精神的・社会的な側面での対応能力、そして経験から得られる理解が含まれます。デス・リテラシーを身につけることで、人は十分な情報をもとに自分で判断し、自分自身や大切な人にとって本当に意味のある支援を行うことができるようになります。したがって、あなた自身のためだけではなく、ご家族やご友人、地域の方々の人生の最期を支える上でも重要です。

このアンケートは全29問で構成されています。質問の中には、あなた自身以外の誰かを支える場面を想定したものも含まれますが、具体的な対象者は示されていません。これは、さまざまな状況における、あなたの一般的な対応力を評価するためです。

このアンケートには死に関する質問が含まれます。死について考えることは、人によっては負担に感じる場合もあります。無理のない範囲で回答してください。回答にあたっては、現在のあなたの知識や経験に基づいて、最も適していると思われる選択肢を選んでください。

**【実践的な知識】**

**（１）会話によるサポート**

**死や死にゆくこと、死別の悲しみ**について、次のような会話がどの程度できますか？1（まったくできない）–5（とてもよくできる）の中から、最も当てはまるものを選んでください。

1. 死や死にゆくこと、死別の悲しみについて、親しい友人と話し合う

2. 死や死にゆくこと、死別の悲しみについて、子どもと話し合う

3.\* 死別の悲しみを抱える人と、その喪失体験について話し合う

4. 人生の最期を迎える人が自宅や生活の場で受けられる支援やサービスについて、医療従事者と話し合う

**（２）日常生活のケア・介護**

現在、次のようなケアをどの程度実践できますか？1（まったくできない）–5（とてもよくできる）の中から、最も当てはまるものを選んでください。

5.\* 食事の介助

6. 清拭（身体を拭いて清潔を保つこと）や入浴の介助

7. 寝返りや起き上がり、移動（車椅子への移乗、トイレへの移動など）の介助

8. 薬の管理や軟膏の塗布

**【経験から得た知識】**

**これまでに経験した死別やその悲しみ、または、他の重要な人生経験を通じて**、あなた自身はどのような変化を感じましたか？次の内容について、1（まったくそう思わない）–5（とてもそう思う）の中から、最も当てはまるものを選んでください。

9.\* 死や死にゆくこと、死別の悲しみに直面している人を支える心構えができた

10. 人生において何が大切で、何が大切でないかを考えるようになった

11. 物事に対する知恵や理解が深まった

12. 自分自身をいたわり、大切に思うようになった

13.\* 将来、同じような困難に直面したときに、より適切に対処する準備ができた

**【事実に関する知識】**

人生の最期や死後に関する手続き、制度などについて、どの程度知っていますか？1（まったく知らない）–5（とてもよく知っている）の中から、最も当てはまるものを選んでください。

14. 在宅で亡くなった際の法的手続き（死亡診断書の受け取り、死亡届の提出など）

15.\* 人生の最期に備えるために必要な書類（遺言書、エンディングノートなど）

16.\* 人生の最期を迎える人が必要とする医療・介護サービスの制度（訪問診療、訪問看護など）

17. 葬儀に関する選択肢（葬儀の形式、費用など）

18.\* お住まいの地域の緩和ケアサービス（在宅緩和ケア、ホスピスなど）を利用する方法

19. 人生の最期における治療方針（延命治療の選択など）を決める上で必要となる、病気の進行や経過に関する知識

20. 葬儀社のスタッフによるサポート内容（ご遺体の安置、火葬場の手配など）

**【地域に関する知識】**

**（１）終末期ケアを支援してくれる人**

**もしあなたが人生の最期を迎える人をケアすることになった場合、次のような手助けをしてくれる人**をどの程度知っていますか？1（まったく知らない）–5（とてもよく知っている）の中から、最も当てはまるものを選んでください。

21. 地域の団体（サークル、自治会、ボランティア団体など）の支援につながるよう、手助けしてくれる人

22. 人生の最期を迎える人への日常的なケアについて、支援を受けられるよう手助けしてくれる人

23. 必要な介護用品・福祉用具の調達を手助けしてくれる人

24.\* 人生の最期を迎える人の文化や慣習に合った支援を受けられるよう、手助けしてくれる人

25. ケアするあなた自身が精神的なサポートを受けられるよう、手助けしてくれる人

**（２）地域・コミュニティにおける支援**

**あなたの暮らす地域やコミュニティには、次のような人に対する支援**があると思いますか？1（まったくそう思わない）–5（とてもそう思う）の中から、最も当てはまるものを選んでください。

26. 命に関わる重篤な病気を抱えている人

27. 人生の最期を迎えようとしている人

28.\* 人生の最期を迎える人を支える介護者

29. 死別の悲しみを抱えている人

\*9項目の日本語短縮版（DLI-J-9）に含まれる質問項目

【評価方法】

以下の手順で0–10のスコアを算出する。

1. 素点の算出：全29項目の回答値を合計し、素点を算出する（範囲：29–145点）。

2. スコアへの換算：次の計算式を用いて、素点を0–10のスコアに換算する。  
スコア =（素点−29）÷116×10

Source: Kawaguchi K, et al. Development and validation of the Japanese version of the Death Literacy Index (DLI-J) and its short form (DLI-J-9). Psychiatry Clin Neurosci Rep. 2025; 4:e70258. https://doi.org/10.1002/pcn5.70258

**The Japanese short version of Death Literacy Index (DLI-J-9) in Japanese**

**【実践的な知識・経験から得た知識】**

3. 死別の悲しみを抱える人と、その喪失体験についてどの程度話し合うことができますか？

5. ケアが必要な人に対して、食事の介助はどの程度できますか？

9. これまでに経験した死別やその悲しみ、または、他の重要な人生経験を通じて、死や死にゆくこと、死別の悲しみに直面している人を支える心構えができたと思いますか？

13. これまでに経験した死別やその悲しみ、または、他の重要な人生経験を通じて、将来、同じような困難に直面したときに、より適切に対処する準備ができたと思いますか？

**【事実に関する知識・地域に関する知識】**

15. 人生の最期に備えるために必要な書類（遺言書、エンディングノートなど）についてどの程度知っていますか？

16. 人生の最期を迎える人が必要とする医療・介護サービスの制度（訪問診療、訪問看護など）についてどの程度知っていますか？

18. お住まいの地域で利用できる緩和ケアサービス（在宅緩和ケア、ホスピスなど）の利用方法についてどの程度知っていますか？

24. もしあなたが人生の最期を迎える人をケアすることになった場合、その人の文化や慣習に合った支援を受けられるよう、手助けしてくれる人をどの程度知っていますか？

28. あなたの暮らす地域やコミュニティには、人生の最期を迎える人を支える介護者への支援があると思いますか？

Source: Kawaguchi K, et al. Development and validation of the Japanese version of the Death Literacy Index (DLI-J) and its short form (DLI-J-9). Psychiatry Clin Neurosci Rep. 2025; 4:e70258. https://doi.org/10.1002/pcn5.70258